



### 感謝の表し方

西尾 茂 (神戸大学 留学生センター長)

日本男児たる者、やたらとヘラヘラせず、毎日「愛してる」なんて声をかけている軟弱な輩を見かけたら、侮蔑の一瞥を投げるくらいの孤高の気位を持つべし、などという考えが尊ばれた時代もあった。



自らは、嘘、偽りなく家族のことを「愛して」いたりするのだが、家内に向かってそのような言葉をかける度胸もないし、言葉をかけられる方だって迷惑だろうと妙な気を遣ってしまうのだ。若い人達には、さっぱり理解のできない文脈かと思うが、国際化が進んだと言われれば、そのような気もする。

愛情表現の違いはともかく、感謝の表現はどうだろうか。家族への感謝、同僚・支援者・協力者への感謝、組織への貢献や国への奉仕に対する感謝など、感謝の相手と内容は様々であり、感謝を表す方法もまちまちである。感謝の表現としては、①表彰状やメダルを贈る、②物品や褒美を与える、③言葉にして伝える、などが代表的な方法であろうか。先の「日本男児」においては、少し方法が違う。想い続けること、気持ちを深くすること、いつも気にかけること、そして大切にすること。このストイックとも思われる感謝の方法では、内面に深い想いを抱き続けることにより、感謝という行為が完了する。そこでは、金品や具現化した物、そして言葉さえ意味を失うのではなからうか。

こんな抑圧的な感謝の方法は、湿気の多い島国特有のものだと思っていた。慎ましやかで、控え目で、やたらと騒ぐことを潔よしとしない気質である。ところが、ニューヨークを舞台にした海外テレビドラマ「キャッスル～ミステリー作家は事件がお好き」(原題:Castle)のあるエピソードで、そのような場面を見つけた。軟派な人気ミステリー作家であるリック・キャッスルと、硬派な敏腕女性刑事であるケイト・ベネットを描いたミステリーで

ある。女性刑事ベネットは、犯罪捜査に協力する破天荒なキャッスルの行動に翻弄されながらも、彼の能力を生かし、支え、周囲から彼を守り、事件の解決へと導く、強い女性である。キャッスルから様々な迷惑を被りながらも、キャッスルと協力し、時には上司と闘い、事を成し遂げる。二人の間には小さな恋愛感情が芽生えるが伝えられず、キャッスルはいつも支えてくれているベネットに抱えきれないくらいの感謝の気持ちを持つが、素直にそれを言い表せない。もどかしい関係が続くのであるが、エンディングで短い会話が交わされる。

沢山の言葉をかけたいキャッスルが「Thank you」と言うのが精一杯なのに対して、ベネットが「Always」と短く答えるのである。字幕には、「どういたしまして」とあった。名訳である。「Always+どういたしまして」の組み合わせに感激した。Irving Berlin作詞/作曲のジャズのスタンダードナンバーに「Always」という曲がある。フランク・シナトラのカバーが有名だが、「1時間でも、1日でも、1年でもないけれど、いつも傍にいる」と、古い録音のシナトラがスピーカーの向こうで甘く囁くのである。Alwaysとは時間の長さを指しているのではなく、「いつも」という気持ちの中に、その本質があるのだと論されているような気がした。

三井ボランティアネットワークの皆様には、留学生を陰日向に支えてくださっていること、感謝申し上げます。この拙文では私の個人的な感謝に対する想いを述べさせていただきましたが、継続的なご支援をいただいている皆様には、「Always」の言葉に秘められた重要な事柄を体現されていること、敬慕の念を禁じえません。今後も、変わらずご支援をいただけますよう重ねてお願い申し上げますと共に、そのご厚情に改めて御礼申し上げます。



留学生との交流会



## 新春のご挨拶

三井 V-Net 理事長 飯尾 紀直



あけましておめでとうございます。

本事業団は、1996年に発足し17年目を迎えました。これまで、「シニアの生き甲斐作り支援」・「三井グループの社会貢献活動」を目指し、三井グループ運営会員各社（現行24社）のOBを中心としたボランティア登録会員（現在約1,270名）

により、さまざまなボランティア活動を行ってきておりますが、この1年間を振り返ってみたいと思います。

昨年は、東京本部において2名の事務局員の交替がありました。業務の引き継ぎもスムーズに完了致しました。また、関西、中国両支部との連携及び情報共有の強化の一環として、7月末には、昨年引き続き両支部の事務局員を東京に召集しての本部・支部合同会議を開催致しました。

現在の事業運営の重要課題である運営会員会社の拡大に向け、二木会・月曜会メンバー会社の未加入会社及び休会会社への新規加入或いは再加入に向け、案内状の発送や会社を訪問しての説明会の実施など、引き続き精力的に取り組みました。

ボランティア会員につきましては、会員拡大に向け、ホームページから活動会員登録の申し込みができるよう見直しを行いました。会員総数は、個別に見ると入退会等増減はありますが、この3年間で着実に増加してきております。

ボランティア活動につきましては、国際交流分野において、新たに一橋大学で国際交流（一対一交流）を開始致しました。また、医療・福祉分野において、三井記念病院でのボランティア活動を開始致しました。引き続き、充実したボランティア活動を展開して参りたいと存じます。

最後になりますが、本年の皆様のご多幸と運営会社各社のご隆昌を祈念するとともに、本事業団の発展のための引き続きのご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。

### 本部（東京）

## 横浜国大部会での楽しみと期待

長田 信夫（三井金属 OB）

若い留学生との多彩な交流が、もう8年余りになりますが、現役時代には得られなかった人生の実りのように思われます。JR関内駅近くの羽衣町で英語教師を父として育った私は幼い頃から外国への憧れが強く、横浜市歌にある「あらゆる国より船こそ通え」との心で外国人、とりわけ希望一杯の留学生には親近感を覚えます。

以前は日本語学習を主にした一対一交流での短期留

学生との触れ合いでしたが、数年前からはアフリカ、中近東、ブータン、モンゴルをも含む国々からの実務研修も目指す世銀奨学金での中堅公務員や会社員在籍のままで来日の大学院生が数多く留学しています。

毎年、4月、10月初めには多数の新留学生を迎えての横浜ウェルカムウォークを続けていますが、工場や研究所の見学、観劇や流鏝馬、鎌倉での座禅会等に参加することは私達、横浜国大部会員相互の親睦にもなり、且つ留学生にも有意義で楽しい交流になっています。

筆者が現在交流中の豪州国立大学（キャンベラ）のレイチェルさんは、日本文化や歴史、地政学的な日本への関心も深く、大変積極的に学習中で、その熱意にほだされています。

彼女はキャンベラ南西の農家に育ち、乗馬やアーチェリーにも慣れていますが、横浜国大キャンパスでは正午からの昼食時間に英会話希望者へのボランティア活動も行っており、何事にも熱心に取り組む姿勢に感心しています。総じて何れの留学生も、往年の日本人を思わせる程に向上心が強く、私達もやり甲斐があり、彼らの将来の活躍が楽しみです。

留学生にはそれぞれの母国、日本にいる身近な同胞、学友との堅い絆があり、彼等が日常、肌で感じていることは、やがて広く関係者に伝わります。

日本滞在中に、ありのままに、よりよく日本を、そして私達の心情をも理解して貰いたいと願っています。



左：レイチェルさん 右：筆者

「日本に来て、良かった」

横浜国立大学留学生

レイチェル フィシャー（豪州国立大学）

2012年4月2日午後9時30分、二人の友達と一緒に飛行機でシドニー国際空港から出発した。オーストラリアから日本まで10時間ぐらいかかる。そして午前6時05分、成田空港に到着した。友達から離れて、YCATまでのバスに乗った。

そのバスが一番後ろの席の二人の外国人に気づいた。彼らは私と同じ飛行機に乗っていた。「二人とも横浜国大に行ったら、面白いなあ〜」と思った。冗談ながら彼らと話したら、それが本当だった！そういうふうにして、私の日本での生活が始まった。

去年、「オーストラリア国立大学、歌舞伎座」というサークルに入った。2011年9月には三島由紀夫作の「鱒

賣戀曳綱」を披露した。その演目を契機として歌舞伎の演技に興味を持つようになった。日本にいる間、歌舞伎の演劇を見たかった。その後、幸運にも私も三井V-Netのパートナーと一緒にチャンスがあったのです！ 長田さんの「楽しい英語の会」の4人と長田さん、そして私は或る木曜日の午前、神奈川県立青少年センターでの「毛抜」を見に行った。理解しやすくするため、私は英語のボイスガイドを借りた。それで、歌舞伎を見ながらイヤホンからの小さな音をきいた。英語で歌舞伎に関しての複雑な表現を説明してくれた。やっぱり、日本の歌舞伎を体験して良かった。

日本ではもう7ヶ月間も過ごした。今年の2月には帰国する予定なので、まだ3ヶ月位が残されている。でも、この期間は短か過ぎると思う。オーストラリア国立大学を卒業した後で、改めて私は日本に帰りたい。日本の大学で大学院生、研究生のような活動をしたいと思っている。日本に来て、良かった。

## 張琦さんとの交流

田辺 清郷（三井化学OB）

千葉大の大学院生（人文社会科学研究科）である中国人の張琦さん（女性）との交流を、2012年4月から、週一回の頻度で行っています。張琦さんはすでに、中国で日本語を勉強してきていますので、題材を基にして、双方向の交流を行っています。張琦さんに出来るだけ話してもらい、意見を言うてもらおうようにしています。

話題は新聞が中心です。文化に関する記事、タイムリーなニュース、社会問題等、かなりワイドな分野にまで及んでいます。張琦さんは色々な事に興味があり、かなり突っ込んだ質問をしてくる。少しでも日本の全体像が浮き彫りになったらと思っています。日本事情に立ち入れば、当然、最近の尖閣諸島の問題があります。領土問題の話は常に平行線ですし、しこりを残すこともあり得ます。



＝スカイツリーにて：張琦さんを囲んで筆者ご夫妻と＝

それにつけても最近、政治的には、日本と中国とは近くて遠い国だと痛感しています。両国とも外交的には戦略的互惠関係という事がかたづけていますが、小さな民間外交としては、それではいけないと思います。もっと

誠実な人間と人間の win, win な関係でなければならぬと痛切に感じています。

張琦さんは日本の文化に興味があり、女性ですので、生け花、着物や日本料理のクッキング等に興味を持っているようです。がしかし、私には講釈だけしかできませんので、妻の応援（実技）を少し得ている次第です。

楽しい話題もあります。5月22日に東京スカイツリーがオープンしましたが、皆さんより少し早く先取りをして、

優越感を感じながら、7月5日に張琦さんと妻と私の3人で、ツリーに登って来ました。粋や雅で江戸を表現しているところや450メートルの展望台からの眺望は、張琦さんにとっても、私共にとっても、経験したことがなく、絶叫ものでした。

週一回の張琦さんとの交流によって、彼女から教えられることも多々あり、勉強にもなっていますし、楽しみながら行っています。

## 留学生との論戦に手応えあり

最上 徹（日本製鋼所OB）

私は三井V-Net設立以来継続してチャリティイベント協力、病院での外来患者補助などと並行して東大や駒澤大学の外国留学生との交流を続けています。

「ボランティア」というと何かに困っている人たちに当方から一方的に援助の手を差し伸べるということになりがちですが、私はできる限り「交流」という概念にこだわって継続しています。その点から見れば留学生との交流は手応えがあります。

現在は駒澤大学で2名の中国（本土）からの女子留学生の語学指導をしています。来日当初は日本語学習歴僅か1年の初心者でしたが、その後こちらから教えることはまるで砂漠の水のように吸収して、政治や経済、文化習慣などについてもまともに食いついて来て意見衝突も茶飯事的になりました。

三井側ではそのような立場の違いによる衝突は避けるべしとの意見が主流です。しかし私は自分個人の考えや国の立場を封印してまでひたすら「貢献」するのでは真の国際交流にはならないと信じています。時々火花が飛びます。でも面白いです。



中央：筆者

## 一橋大学留学生との一対一交流をはじめ

廣瀬 邦彦（三井化学OB）



王さんと右筆者

平成24年8月末の暑い日、国立の一橋大学のキャンパスを訪問しました。

NHKの朝のドラマ「梅ちゃん先生」で有名になった「図書館の塔と泉水」のあるあのキャンパスです。今般、新しく一橋大学の留学生との一対一交流の依頼があり、希望する留学生と面談するための訪問です。

三井V-Netでの国際交流を始めてから今年で3年になります。



一対一交流の留学生とは、「楽しい日本の記憶」を意識して日々の計画を立ててきました。

いままでに、メキシコ、中国、フランス、台湾、韓国、オーストラリア、スウェーデン、と多くの留学生たちと楽しく意義深い時間を過ごしてきました。

留学生の皆には、伝統の日本、技術の日本、人にやさしい日本、安全安心の日本、多様性の日本等々、日本が世界に誇る文明を感じ取ってもらえるようにと意識しながら、また、私自身も、身近にあってもあまり経験のなかった新しい体験を楽しみ、心身共に若返るように心がけ、少し欲張った活動をしてきました。

今般の一橋大学の留学生「王瑞君」さんは、日本語経験は中国2年、日本2年の中国大連からの女子留学生で、現在、商学部修士コースで金融を勉強しています。

卒業後の希望は、日本の金融証券関係の企業への就職ということで、日本語検定一級の今の日本語レベルを、日本の金融関係で通用するまでにレベルアップすべく、特訓を開始しました。日本での就職を考えると「楽しい日本の記憶」以上のものがほしいと思いながら、週一回の交流を、楽しい有意義なものにしたいと思っています。

### 三井 V-Net と新たに

王 瑞君 (一橋大学留学生)

日本にきて以来、最も悩んでいるのは、学校以外の場面でのコミュニケーション問題です。「アルバイト先の上司と話すのは苦手だ」、「日本人同僚と会話のキャッチボールできない」、「会社でこんなことあったら、どう対応すべきか」などのような問題に常に悩んでおり、もし誰かに教えてもらえればと思っていました。

その時、「三井ボランティアネットワーク事業団」により廣瀬邦彦さんを紹介していただきました。よく廣瀬さんに質問するのは、「もし社会人だったら、この場合、どのような対応をするか」です。二人でのチューターリングは今までわずか一ヶ月ですが、アルバイト先の上司とのコミュニケーションも怖くなくなりました。本当にありがとうございます。今後も、これから始めるエントリーシートの添削や模擬面接などを、ぜひお願いしたいと思っています。

### 三井ボランティアは私の第二の人生の扉を開けてくれた

飯野 義章 (三井物産 OB)



今から16年前、三井V-Netから来た一枚の葉書に返事を出したことが全ての始まりでした。この1枚の葉書が私の第二、第

三の人生を明るく楽しい方向に導いてくれました。

16年前というと三井V-Netは創設されたばかりで、全てが暗中模索、試行錯誤の連続で、何をしようかとボランティア共々喧々譁々、社会貢献型か国際貢献型かなどと議論をしていました。

地域密着型ボランティアとのコラボも議題になり、この議論の過程で世田谷区玉川地区に拠点を構える“銀雄クラブ”と称するサラリーマンOB (男性のみ) の地域ボランティア団体が紹介されました。当時は設立されたばかりの10数名の団体でしたが、現在は40余名で各種ボランティア活動、サークル活動をしています。クラブの目的の一つに「友達作り」があり、今では気の合ったメンバーと家族同士の付き合いをしています。これが私の第二の人生を更に明るくしてくれました。

さて日赤ボランティアについては、16年前日赤のボランティア受け入れ態勢は整っておらず、また三井V-Netの認知度も低かったこともあり、三井V-Netは我々ボランティアを第三者のボランティア団体経由で日赤に派遣せざるを得ぬ事態でした。日赤の体制整備はアナログ的な世界でした。無論ボランティア・マニュアルも無く、我々が自らマニュアルを作成していた次第でした。この点、当時は思う存分に活動が出来たのではと思います。現在ではボランティア制度も確立され、役割分担も明確化されていますが、今では何か物足りなさを感じています。日赤はお役所的とも言われていて、患者さんにとって不便と思われる局面があるかのように見受けられます。

病院に来られる患者さんは気分的に滅入っておられる方々が多く、患者さんに接する我々、外来担当ボランティアは患者さんが不愉快な思いをせずに帰って頂けるように心がけています。中にはモンスター患者もいますが、患者さんにちょっと声をかけるとか、また時には患者さんのお話 (20分以上に亘る場合もありますが) をただ聞くだけで、患者さんが晴れ晴れとしたお顔で帰られることもあり、明るく笑顔で患者さんのお気持ちに沿うように努めています。

話は飛びますが、ある日突然、民生委員・児童委員を拝命し、厚生労働大臣名の委嘱状を受け取るに至り初めて事の重大性に気が付いた次第でした。地域の一人暮らしのお年寄りの状況把握が主な役割でしたが、一人暮らしのおば様達を訪問調査すると、まあ上がれといわれ、お茶、お菓子、果物が出され、延々と数時間同じ身の上話を何度も聞かされていました。この間にDV児童虐待のケースにも遭遇しましたが、一番脳裏に焼き付いているケースは単身高齢男性の自殺を未然に防止出来たことでした。このような経験、社会貢献が出来たのも三井V-Netに出した1枚の葉書から導かれた結果だと思っています。

最後に、2011年2月テニスをしていたところ、突然心肺停止になり、7日間あの世をさ迷っていましたが、奇跡的にも脳には殆ど障害が残らず、この世に戻って来る



人と人のまんなかに。

ことが出来ました。これはテニス仲間の迅速な救急救命措置に因るもので、深謝すると共に迅速なる救急救命措置の重要性を痛感させられました。

これからは、第三の人生、貰った命を大切に、閻魔大王の意向をくんで体力、気力の続く限り、日赤等のボランティア活動を続けて行きたいと思っています。日赤のボランティア活動では大勢の人々に接し、気配りをし、お話して等々脳の活性化に繋がると同時に老化防止に絶大なる効果があると信じています。

## エリザベス・サンダース・ホーム チャリティコンサートのこと

木村 堅二 (三井物産 OB)



筆者 (右端) と仲間たち

三井V-Netの会員の皆様お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。生まれつきの「野次馬根性」が抜けきれず、現在もグループで行

う活動にのみの参加で申し訳ありません。

昨年10月21日開催のチャリティコンサートでは心から幸せな一時を過ごすことが出来ました。いつも応援団として支えて呉れています友人知人達が下記のような感想や写真を届けて呉れましたので、ご披露させていただきます。写真の笑顔がコンサートの素晴らしさを表しています。

Aさん：東京から東海道線に乗って一時間という、ちょっとした小旅行です。気分転換には最高です。大磯の駅前の静かで落ち着いた街。そんな所にあるエリザベス・サンダース・ホームのコンサートは格別の環境のホールです。あのステージに上がって一度演奏をしたくなります。今年も島田彩乃さん率いるPf.四重奏を聞いて幸福でした。チェロの高木慶太氏奏でるピアソラが特に良かった。しかも、今回はホームの担当者のご挨拶、そして元気な子供たちの姿を見ることが出来て大変満足です。

Bさん：その名に恥じない素敵な「海の見えるホール」、ロケーションといい、周りのあまりに贅沢な雰囲気といい、ただただ感激！ 秋晴れの相模湾を眼下に、格調高いピアノと弦の響きにうっとりそれはそれは超満足なコンサートでした。個人的には、ひばりメドレーに「お！P4でも、いいもんだね！」。島田さんの妹さん作曲の「香」には聴き入ってしまいました。女性ならバリとか草津の森のエステを受けながら。中々のBGMかも。

Cさん：今年は昨年より良かったと思いました。曲の構成が理由かどうか分かりませんが。

音を楽しみながらボーっとパラグライダーを見ながら。なんと贅沢な時間だったのでしょうか。日本の曲では思わずマイクで歌いたくなってしまいました。きっと上手く歌えたと思います。まったく楽しい時間でした。ありがとう

ございます。多謝 多謝。

事務局の皆様は相変わらずお忙しい毎日でしょうが、こんなに喜んで頂けるグループでの活動の継続をよろしくお願い申し上げます。会員皆様をはじめ関係者皆様の益々のご健康とご発展を心より祈念申し上げます。

## 荒川河川敷清掃記

鈴木 英毅 (三井造船 OB)

2012年10月28日9時30分、平井駅に集合し荒川へ。三井V-Netの参加者は事務局の高橋勝栄さんほか3名であった。現場では主催者のNPO法人「荒川クリーンエイド」の佐藤代表理事が作業本部を整えて出迎えてくれた。他のグループ、団体も三々五々集まり、総勢50人程になった。親に連れられた小学生も多数参加していた。

清掃といってもごみ拾いである。作業要領の説明の後各自分別用の袋を受け取り、早速グループ毎に作業開始。

わがグループのリーダー高橋さんは收拾ごみの記録も担当し、大変そうであった。リーダー以外は黙々とごみを拾い分別し、袋へ入れ満杯になったら作業本部へ持ち込む、この繰り返しである。

河川敷は美しく、どこにごみがあるのかと思ったが、よく見れば水際には沢山のごみが漂着しているし、砂に半ば埋もれているものもある。そのごみも千差万別、大型ごみからレジ袋まで多種多様であり、本部にはたちまちごみの山が築かれた。

ごみを拾いながら観察すると、これがなかなか面白い。捨てられた経緯を想像したり、断片から全体像を類推したりするのである。そもそも何なのか理解不可能な物体もあり興味深い。世相や時代の風潮なども伺える。私にとって未知との遭遇であった。

社会学の一分野として「ごみ考現学」が成立するのではないかと、ミステリードラマのように遺棄死体に出くわすのではないかと、などと考えているうちに雨が降ってきて、予定を繰り上げて早めに上がることとなった。

参加者の皆さんは気持ちの良い方ばかりで、楽しい雰囲気で作業ができたと思う。残念なのは作業時間が短かったことと、他の団体との交流ができなかったことである。一汗かいてビールで打ち上げができれば完璧であった。



(左から筆者、田口さん、畦地さん、高橋さん)

## 五年後の国際交流

安田 憲司（三井住友銀行OB）

当事業団の会員として初めての留学生との一対一の国際交流、出会いは2005年6月。

お相手は、京都・同志社大学の博士課程の正規学生として精励する中国からの留学生。初対面の印象は、日本人と紛える可愛い女子学生。

早速に交流が始まった。手渡された交流登録票の彼女のニーズは「日本語でうまく話したいであり、日本の経済、文化、日本人の生活など、いろいろ知りたいである。」……と語尾はこんな調子だった。

毎月2～3回の交流。日本の事を知っていただくについては京都は材料が豊富。何しろ日本文化の粋が集まっている場所だ。歌舞伎・能・狂言・花街の舞踊など。それに祇園祭・大文字送り火等祭事も見るべきもの、知るべきものには事欠かない。

経済については、元銀行員だった事が幸いし経済というより実践・経験からの経営学に近い解説を試みた。それよりも、何よりも彼女自身が熱心だった。何事にも興味を示し、どんどん質問してくる。たしか2006年3月発行の本誌ニュースレター Vol.31でも紹介させていただいたが、「ここ・そこ・あそこ」は距離にしてどの程度のひらきがあるの??との質問には即座に答えようがなかった。

今にすれば彼女との楽しい思い出・語り草の一つだ。

また交流が始まった直後の2005年秋の須磨海岸クリーンアップ活動に参加、参加感想文を三井V-Net関西事務所ホームページの一頁を飾ってくれた。

正月には我が家に招いたが、娘や孫達ともすぐに打解け、私が出る幕なし。

その彼女も、2007年3月、日本での学業を終え帰国した。彼女が中国へ帰国しても、娘が勤務先の日中の合弁会社に出張した際には現地での観光の案内役を務めてくれた。この間、私もメール交換で絆を深めようとしたものの音信が途絶えることもままあった。昨年2012年の正月に突然日本に居るとのメールが着信、5年振りに会いたいとの懐かしい声。詳しく聞けば、同志社を卒業後日本の企業に就職、即その会社の中国における関連会社に出向したとのこと(中国へ帰国の際、こちらからは詳しく聞くことは遠慮していた)。このたび出向の任を解かれ本社勤務になり日本に舞い戻ってきたそう。そして昨年2012年3月には交流を再開した。その後何回の会食でお互いの生活の情報交換、その間留学生交流当時に京都観光で三井V-Net関西支部の村上さんにもご一緒いただいたご縁で事務局の方々との交流もあり、皆さんとの食事会を開いたり、三井V-Net国際交流がきっかけで、外国人とは縁もゆかりもない私にとっても素晴らしい事である。

5年を経た彼女のコメントをそのまま紹介しましょう。



左：蔡さん 右：筆者

### 五年後の交流再開

蔡 雪皎

私は2005年4月に同志社大学に入学して、暫く経ってから三井V-Netの「一対一交流」活動で安田さんと知り合いました。それが私の一生を変えました。

安田さんと知り合うまでの私の同志社生活は、授業、アルバイトに追われる毎日でした。異国での生活の孤独感、将来への不安でいっぱい、生活を楽しむことはできませんでした。

安田さんと知り合ってから、私の生活はがらっと変わりました。安田さんが日本語を教えて下さったおかげで、私は自信を持って話すことができるようになりました。卒業論文も安田さんと二人三脚で完成して無事卒業ができました。卒業証書に安田さんの名前を入れたくらい深く感謝しております。「一対一交流」で、私が勉強できたのは日本語だけではありませんでした。安田さんが日本の桜、紅葉、梅の花の見物、歌舞伎や能などの伝統芸能の鑑賞に連れていただいたおかげで、私は美しい日本の四季と美しい日本の文化を深く味わうことができ日本ファンになりました。

同志社から卒業して中国に帰国することになったとき、正直、人生でこんなに親切にして頂ける方に出会えることはきっと二度とないと思い、非常にさびしく思いましたが、中国の天津で働いて3年間が経過したとき、急に本社転勤が決まってまた日本に戻ってきました。安田さんのおかげで、今の私の日本での生活は留学生時代と違って日本語で困ることはあまりありませんが、人生の大先輩である安田さんとはこれからもずっと付き合っていたら、安田さんからはいろいろと学びながら、楽しい時間を共有したいと思います。

### 司馬遼太郎記念館と私

太田 勉（三井住友海上OB）



平成23年3月に42年間に及ぶサラリーマン生活に終止符を打ち、年金生活がスタートしました。最初の半年程は8年前にメンバーに加えてもらった市民プラスバンドで毎週日曜日の合同練習時にクラリネットを吹く以外には特に為すこともなく気ままに暮らしていました。しかし夏の猛暑で外出が億劫になり出不精になったことをきっかけ

に新たな活動の必要性を感じ、10月に三井V-Net関西支部を訪れていくつかの情報を頂き、その中で40才代の単身赴任時代に司馬遼太郎の著作を何冊か読んで興味を持っていたこともあり、司馬遼太郎記念館が自分に向いてそうなので応募したところ幸い採用して頂きました。

それから1年になりますが、原則として毎週金曜日の午前中に活動を続けています。活動は午前(9:30～13:00)と午後(12:40～16:30)に別れ、毎月4回以上の活動が要件(同日に午前・午後とも活動すれば2回分として換算)ですが、活動日はエントリー制なので自分のスケジュールに合わせる事が可能で、また30分活動すれば次の30分は休憩時間となりますので体力的に余裕を持って活動することができます。また、休憩時間に他の経験豊富なメンバーから様々な話が伺えることも有意義で、毎回楽しく参加させて頂いています。

記念館は司馬氏が晩年まで過ごした自宅と、その隣接地に安藤忠雄氏が設計した資料館によって構成され、地下1階から地上2階を吹抜けにした壁面に設置されている大書架に収められた2万余冊の蔵書(それでも全蔵書の約半分)と司馬氏の全著作に囲まれていると、司馬氏の偉大な業績が偲ばれ、今まで読んでいなかった作品にも関心をそそられて僅かずつですが読み始めています。

場所は、東大阪市の近鉄奈良線・河内小阪駅で降りて南口を出ると、正面の商店街アーケードに「司馬遼太郎記念館↓」と大書してあり、それに従って歩いていけば要所毎に案内表示がありますので、迷うことなく10分程で到着することができます。

ボランティアはどうも?という方も、是非一度来館されることをお待ちしております。尚、休館日は毎週月曜日(月曜日が祝日や振替休日の場合は翌火曜日)と、年末年始及び9月初旬の約10日間となっていますのでご注意ください。

## 神戸市立博物館へどうぞ

鹿毛 聡 (王子製紙OB)



左:筆者

JR三ノ宮駅から南西へ徒歩で約10分、旧外国人人居留地にある神戸市立博物館は、1935年(昭和10)建築の旧横浜正金銀行神戸支店を増改築後、1982年(昭和57)に開館しました。2012年は開館30周年記念特別展として、マウリッツハイス美術館展が開催され、人気の高いフェルメールの『真珠の首飾りをした少女』、レンブラントの『自画像』などが展示され、大変な盛況となりました(～2013年1月6日まで)。

日本では博物館などのツアーブームが続いていますが、博物館は資料を収集、保管、調査研究するだけでなく、「資料を展示して、教育的配慮のもとに、一般公衆の利用に

供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するために必要な事業を行う」(博物館法)、即ち生涯学習の場でもあることをご存じでしょうか?

学習支援交流員という活動もその趣旨に沿う形で、「博物館における活動を通し、生涯学習の促進や人と人との交流を深めること」を目的の一つとしており、OB、OGにとってまさにピッタリの活動、学習の場ということになります。

還暦を契機に地域の歴史講座の受講や史跡巡りを始めていましたが、2011年秋、三井V-Netの案内で、博物館ボランティアの募集があることを知って応募しました。

口角を上げて笑顔で対応など、おもてなしの研修を含めて6回の研修後、平成24年4月より第5期生として活動開始となりました。とはいえ現実的には、先輩の方々が積み重ねてきたノウハウを色々と指導していただきながら、講演会の受付や、案内の手伝いから始め、夏休みの子供向けのワークショップ参加で、一通りの活動における雰囲気や役割を少しだけ掴めた段階です。長年縦社会に馴染んだ思考回路が、自主性重視のボランティア活動の回路にすぐに切り替わるわけはありませんが、日々これ学習というところです。

今年2月からは「中国 王朝の至宝」という特別展も計画されています。旧居留地や清盛ゆかりの地巡りとともに、家族揃って神戸市立博物館をお訪ねください(広報活動のお手伝い!)

## 二色の浜ビーチクリーンアップに参加して

高井 治美 (三井化学OB)



前年に次いで2回目の参加でした。2011年8月中旬、OB仲間の山下さんから、二色の浜ビーチクリーンアップの案内を受けて参加。回収作業が無事に終わり、帰りの電車内での心地よい疲れと清々しい気持ちが忘れられず、次回も是非参加しようと思った。

2012年の9月中旬に、山下さんより案内メールが届き、早速参加の回答をしてほどなく、三井V-Netから参加受理のメールが届く。当日は台風17号接近中で、レインコートと傘をリュックに追加して二色の浜へ向かう。公園マスト下では、前回同様、多くのOB仲間たちに出会えてほっとする。今回は少し余裕が出て、山下さんからビーチクリーンアップの目的についての説明を受ける。世界的な海洋汚染が広がっていく中、生物への環境汚染、ひいては人類への悪影響は避けられない状況になって来ている。その主原因は人為的なものであり、この汚染実態を探ろうというのが今の活動である、と。

過去の実績から、砂浜での禁煙防止条例制定を大阪府へ要請し、そのあと禁煙看板の設置や禁煙アナウンスが行われた効果だろうか、次の年のビーチクリーンアップでは、煙草の吸いがらの回収量がかなり減少したと、



人と人のまんなかに。

山下さんは笑顔で説明。私もこの活動目的をより納得した次第。主催者、来賓ご挨拶のあと、参加者全員が海岸に向かいごみ回収を始める。今回気付いたのは、花火の燃えかすの多いことである。三井V-Netからのごみ調査データによると、花火の燃えかすはワースト3になっていた。来年はどうなるか心配である。

海岸で小学生や幼児たちが、お母さんと一緒にはさみをうまく使ってごみ回収している姿に、しばし見とれる。

この気持ちを忘れないで成長して欲しいなあ〜と勝手に思うばかり・・・。

あつと言う間に回収作業時間が終わり、ごみ集約場所へ向かう。全ての作業が終わり、全員で記念写真撮影のあと解散となる。心配した雨も降らず、今回もいい気持ちで二色の浜をあとにしました。次回も是非参加しようと思いつつ・・・。

## サントリーレディスオープンゴルフ トーナメント2012ボランティアに参加して

小河 末廣（登録活動会員）



いつも女子プロのトーナメントは、テレビでしか見たことがありませんでした。今回ボランティアに参加してみないかと、三井V-Net事業団関西支部長のお知り合いの澤野井潤一様からお話があり、

いい機会が訪れたと喜んで参加させていただきました。

まず申込書を提出する時に、友人にゴルフには詳しくないんだから、あまり難しい業務には携わらないようにと一言くぎを刺されましたので、固定ギャラリー誘導とスコアボードを選択しました。

2012年6月9日（土）は、固定ギャラリー誘導として、10番ホール前方で、ギャラリーが通り抜けしないようにロープで規制する業務でした。選手のプレー順の名簿を見ながら、有名なプロがティーショットを打つ瞬間は、仕事を一瞬忘れ（まずいかな）、見とれていました。やはり、人気選手はギャラリーが多かったですが、どの組にも必ずギャラリーがつき、熱烈な応援をされていたのが印象に残りました。

また、プロはテレビで見るより全体的に小柄ですが、飛距離をみてびっくりしました。ギャラリーの方も、こちらの注意に素直に従っていただき、マナーの良さにも、この大会の雰囲気を感じられました。

6月10日（日）は、最終ホール18番の通路側のスコアボードを担当しましたが、観客が多くて、刻々と変わる順位に一喜一憂しながら、スコアボードを食い入る様に見られている姿に接して、この大会に貢献しているなど充実感を



味わいました。私は、晴れ男なので大会が気持ちよく運営されるためにも、今年も是非ボランティアに参加させていただきたく、ご案内をお待ちしております。

## 中国支部（広島）

### 「ボランティア」について

曾根 孝子（登録活動会員）

私がボランティアを始めたきっかけは、三井V-Netに勤めておられた細川さんに誘われ入会したことからです。細川さんと一緒に習っていた銭太鼓を老人ホームや色々な施設を訪問し演じます。つたない演技でも手をたたき笑顔で喜んでくださるとこちらも幸せな気持ちになります。銭太鼓のメンバーも何時の間にか10名に増え、月2回和気あいあいとお稽古をしています。他に南京玉すだれ、奇術、腹話術、ひょっとこ踊り、泥鰌すくい、民謡、舞踊、琴それとハーモニカ演奏に合わせ入所者の皆さんと一緒に唱歌を歌ったりと盛り沢山です。その都度都合が付く仲間がプログラムを組み訪問しています。訪問する時に折り紙で折った楊子入れを持参し皆さんに差し上げています。その楊子入れは広島市内に在住の年配の方が家で出来るボランティアとしてこつこつ作っては私に送って下さっています。

施設訪問とは別にプルタブ集め、エコキャップ集めを行っています。プルタブは900キログラムで車いす1台贈呈出来るとか、エコキャップは800個で20円に換金され発展途上国の子供に一人分のワクチンを提供出来ると聞きました。正直言って800個エコキャップを集めることより20円寄付する方が手間も掛からず手取り早いと思いますが、その一つ一つが貴重な資源だと思うと例え道に転がっていても、公園の塵箱に入ってもつい集めずにいられない心境になってしまいます。そんな仲間が一人増え二人増えだんだん輪が広がって来ています。

その集まったエコキャップは細川さんを通し三井ボランティアへ持参してもらっています。

目立つことは無くても形は違っても世の中のためになっていると信じ、これからも身体の続く限り要望がある限り続けていきたいと思えます。



前列右側が筆者

### 私のボランティア

新井 祐範（東芝プラントシステム(株)中国支店）

私がボランティアを始めたきっかけは、12年前、鹿児島県垂水市で官庁関係の工事をしているとき、地域貢献活動をすれば、完成検査時の評価点が加点されることを知って、それでは現場で何かやろうと始めました。実行したのが、週1回の道路清掃や、年末に養護施設の清掃及び電気点検でした。最初はボランティア精神からではありませんが、少しでも地域貢献していると思うと、多少気分よく感じていました。それ以降は、広島太田川クリーン



人と人のまんなかに。

キャンペーンに定期的に参加する程度でしたが、縁あって今年からは、三井V-Netにお世話していただき、平和記念公園の清掃活動や、「第11回ひろしま「山の日」県民の集い」（雑木伐採作業）や、つい最近では「クマとの共生柿もぎ体験」（柿もぎボランティア）に参加しています。



「クマとの共生 柿もぎ体験」平成24年10月28日（日）は、安芸太田町戸河内上田吹で、熊が人里に下りて来て柿の実を食べないように、柿の実

をもぎ取る作業をするものでした。当日、予報では午前中は雨ということでしたが、朝から晴れ渡り暖かい好天気恵まれ、参加者、関係者の皆さん大変喜んでおられました。地元の方を含め50名くらいの方が参加され柿畑の場所に案内され柿の実を取りました。専用のはさみで柿を枝から切り離しかごに入れ、選別場所に持ち込みました。選別場所では、大きさや品質状況で選別され、売り物になるものは出荷するとのことでした。当日もぎ取った柿の実は、渋抜き用のドライアイスを入れた袋に詰め、希望者に格安料金で干し柿用にと販売もして頂きました。さらに昼食時は、地域のご婦人方が焼きもち、おはぎ、おにぎり、猪汁等を作って頂き、地域の人たちと交流しながら、美味しく頂くことが出来ました。全くどちらがボランティアを受けているかわからない状態でした。聞けば地域住民の方も年々減少し高齢化となり、地域を活性化するためには、都市部との交流が必要との考えがあるそうです。

以上私のボランティアの体験談を書きましたが、自分が楽しんでできるボランティアを、今後も出来る範囲で続けていきたいと考えています。

## 文化の日 広島市郷土資料館のイベントに参加して

富田 洋（登録活動会員）

平成24年11月3日文化の日、広島市郷土資料館スペシャルイベント「駄菓子づくりひろば」に、イベントの手伝いで参加しました。駄菓子づくりや藍染め等の人気体験で、資料館周辺に縁日の雰囲気と賑わいを創出するとの狙いで開催されたものです。ブースは、綿菓子づくり、カルメラ焼き、一銭洋食づくり、ラムネ菓子づくり、あったかわらび餅作り、ヨーヨー釣り等でした。

お客様は、幼児からおじいちゃんおばあちゃんまで、初体験だったりまた昔を思い出したりして、終日笑顔、歓声の連続で大盛況でした。私は今回で3回目、いずれも綿菓子担当（綿菓子機械2台担当3名）。開場10時から30～50人の行列が終了16時まで途切れず一番人気のブースでした。5月広島フラワーフェスティバルでも綿菓子づくり（作業所手伝い）をしており、綿菓子専門職になった気分楽しく、子供さんや親御さんと会話しながら

作業が出来ました。また親子やお孫さんと楽しそうに箸をまわす姿は、見ているだけでも楽しくほほえましいもので、うん十年前の秋祭りを思い出しました。テレビゲームやパソコンゲーム等室内での遊びが多い中、青空の下での体験は新鮮な驚きと感動を生み、思い出になったようでした。三井V-Netからは7名の参加でしたが、各ブースとも盛況で楽しみながらも作業に夢中で、幼少時代を思い起こし次回も多くの仲間と参加できればと思ったのではないのでしょうか！



## 広島平和記念公園の清掃活動

酒井 洋文（東芝エレベータ(株)中国支社）



平成19年1月より平和記念公園の清掃活動に参加し、間もなくまる6年になろうとしています。私たちはこの活動をCSRの一環と位置付け、数多くの社員に参加を呼び掛けてきました。はじめのうちは少人数で活動に参加し、三井V-Netの方々と一緒にさせていただくといった形でした。しかし、今では毎月数多くの社員、家族まで参加し、この10月で延べ参加人数は678人となりました。「奉仕活動も気持ちがいいね」「ついつい夢中になりました」「平和のシンボル（平和記念公園）で清掃活動ができることは貴重、携われることが嬉しい」、こういった声を聞くとこの活動を継続させて良かった、と素直に嬉しい気持ちになります。

平成24年12月にはこの活動が始まり、70回目の節目を迎えます。この機会に、より多くの社員、家族に参加いただけるよう声掛けをしていこうと思います。また、今後もこのCSR活動への積極的な参加を継続させていきたいと思っています。

最後に、CSR活動に参加いただいた社員、家族の皆様、そしてきっかけを作っていただいた三井V-Netの皆様へ感謝の意を表したいと思います。（平成24年11月寄稿）

追伸 この清掃活動に参加いただいた当社の竹本営業部長とお子様（龍君）より、感想文をいただきましたので紹介させていただきます。



へいわこうえんのそうじに、いきました。みじかいたばこが、おちていました。すてるのは、いけんね。

（たけもと りゅう 5さい）



人と人のまんなかに。

息子と清掃活動に行くのも3回目。上記述の「みじかいたばこ」とは、吸殻のこと。

いつも「何で、タバコが落ちてるの?」「誰が捨てるの?」と清掃中に質問を受け、返事に窮します。本当に、吸殻のごみは多い!観光地といっても、平和を祈念する聖地。清らかな場で祈りを捧げたいものです。

この清掃活動を通じ、私はいつも、平和の尊さを感じます。平和公園を訪れる方々が、ボランティアネットワークの活動する姿を見て、平和、ごみの落ちていない聖地というものを感じて頂けたらと思います。(竹本 秀樹)

## 事務局便り

### エリザベス・サンダース・ホームで チャリティコンサート

本部

大磯のエリザベス・サンダース・ホームにおいて、昨年10月21日(日)第6回チャリティコンサートを開催しました。



会場は大磯の海を眼下に見下ろす小高い丘の上にある聖ステパノ学園「海の見えるホール」です。秋晴れの下、ホールの舞台後方に広がる江の島、相模湾の景色が一望できる等バックグラウンドも素晴らしく、演奏会を更に盛り立ててくれました。

演奏は前回に引き続き、国内交響楽団あるいは単独ピアノコンサート等で活躍の島田彩乃さんをはじめ、竹原奈津さん(バイオリン)、島田 玲さん(ヴィオラ)、高木慶太さん(チェロ)の四人がショパンの「ノクターン」やピアソラの「格蘭・タンゴ」の他、懐かしソングとして「ビートルズ」「美空ひばり」など、独自のアレンジで前回とは少し趣も変えた演奏を奏でてくれ、割れるような拍手の中、アンコールにも応える等素晴らしい演奏会となりました。



なお、チャリティにはボランティア登録会員やその家族、友人ならびに三井V-Net運営委員長など三井グループ関係者を含め180名の方々にご協力いただき、収益金ならびに募金は同施設へ寄付させていただきました。ご支援、ご協力ありがとうございました。

## “関西サロン”が面白い

関西支部

会員の活動分野・活動日が異なり会員間の情報・意見交換を行う場がないことから会員間の交流促進と三井V-Net活



ナンディタさん

動の活性化を図るため、関西支部事務所に“関西サロン”を開設。

—昨年10月より毎月1回開催しています。関西サロンの運営方針は、

- ・気軽に参加、自由に情報・意見交換
- ・毎月テーマを変え、幅広い情報交換(例) 今月「留学生交流」、来月「病院・福祉」
- ・終了後の有志昼食会(関西サロン番外編)

毎月15名前後の会員が参加、活発な情報交換が行われ交流の輪が広がって、“定年後の異業種交流”を和気藹々と楽しんでいます。



ランカさん

昨年10月、来日中の元神戸大1学留学生ご夫妻スリランカ人のナンディタ氏とランカ夫人を特別ゲストに迎え講演をして頂いた時の写真をご覧に入れ関西サロンの雰囲気をお伝えします。

## 一事務局員の異動一

### 入団挨拶

本部 大橋 誠治 (三井住友海上 OB)



2012年6月に入団しました大橋誠治と申します。3月末に三井住友海上を定年退職した60歳の新人です。

これまでボランティア活動にはそれほど多くの関わりはなかったのですが、定年を迎えるにあたり少しシニアのボランティア活動をイメージアップしつつ三井V-Net事務局に入りました。入団した後に会員の皆さまの多方面での活躍を見聞きしては感服する毎日です。勤務は週3日で前任の川端より引き継ぎ「千葉大部会、東大柏部会、一木会」の担当となりました。三井V-Net事務局の一員として微力ではありますが会員の皆さまとともに三井V-Netの活動の発展に努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

### 退団挨拶

本部 川端 康之 (商船三井 OB)



2012年6月末をもって三井V-Netを退団致しました。2005年9月に入団して6年と10か月三井V-Netにお世話になりました。この間、一木会例会事務局業務や東京大学(柏キャンパス)・千葉大学の国際交流事務局業務などを担

当させていただき、それぞれ貴重な経験をさせていただきました。もっとも至らぬことばかりで皆様方には随分ご迷惑をおかけしたことと思いますが、多くの皆様方の温かいご声援に支えながら何とか事務局業務を務めて参りました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、三井V-Netの今後のますますの発展をお祈り申し上げます。

## 一木会例会 2012年の行事

三井V-Netのボランティア会員が集う一木会例会は1、4、7、10月の第1木曜日(原則)に開催し、必要な議事の審議、事務局報告や部会報告のあと、講演会などを行っています。また例会後の親睦会では会員同士の情報交換を行い、友好を深めています。2012年に実施した行事は次のとおりです。

### 【1月12日(木)】

講演：「江戸の文化—黄表紙を中心に」

講師：池田弘一氏 (神田外語大学名誉教授)



江戸時代の黄表紙はそもそも子ども向けの絵本であったものが、後に大人用の読み物に転化したものであり、筋書き自体はたわいもないものの、絵や説明書きによっておもしろ、おかしく読ませるものであるというようなお話や恋川春町の「親敵討腹鼓」など、黄表紙の解説がありました。

### 【4月5日(木)】

#### 1. 部会報告(奥多摩倶楽部)

世話人志儀忠輔氏より、奥多摩倶楽部のこれまでの活動概要、現在の活動状況、今後の活動計画などについて報告がありました。

#### 2. 講演：「知っていそうで知らないノーベル賞の話」

講師：北尾利夫氏(ノーベル賞研究家)



スウェーデンのストックホルムで生まれたノーベルはダイナマイトの開発で巨万の富を築きましたが、そのノーベル及びノーベル賞にまつわる興味深いお話でした。

### 【7月5日(木)】

#### 1. 部会報告(湘南倶楽部)

世話人石渡戸征治氏より、湘南倶楽部設立の経緯、活動状況に続き、大磯エリザベス・サンダース・ホームにおける奉仕活動、鎌倉由比ヶ浜、源氏山公園での清掃活動などについて報告がありました。

#### 2. 講演

(1) 三井住友海上ならびにMS&ADインシュアランスグループの社会貢献活動

講師：三井住友海上火災保険(株)総務部地球環境・社会貢献室課長 山ノ川実夏氏



MS&ADグループおよび三井住友海上の社会貢献の変遷、現状、社会貢献活動を支援する制度・仕組みの説明に続き、具体的活動であるMS&ADゆにぞんスマイルクラブの取り組み、東日本大震災被災者支援、ラムサール条約湿地等における水辺の環境保全活動、MS&ADエコsmile等について聞きました。

(2) 東芝グループ150万本の森作り活動概要

講師：(株)東芝CSR推進室社会貢献担当グループ長 誉田卓也氏



東芝グループCSR基本概念、構成要素および東芝の社会貢献活動、従業員の社会貢献参加支援などの説明に続き、「植育林プログラム、教育プログラム、資金プログラム」で構成された従業員を中心に現場のニーズに応じた植林/伐採双方の活動を支援している「150万本の森作り」活動について聞きました。

### 【10月11日(木)】

#### 1. 東大国際センター部会報告

世話人瀬川晋氏より、部会の世話人、発足経緯、会員の動向、対一交流・イベント企画などに関する報告がありました。

#### 2. 講演：「東京大学の国際化と留学生の受け入れ」

講師：東京大学前川宏一教授



東京大学における工学系研究科における国際化と留学生の受け入れについて講演をいただきました。1970年代後半の諸先輩の苦勞のお話から、1982年には組織的な教育研究活動の国際化が始動し、書類選考、フルタイム奨学金、英語による講義/指導の開始およびその後の発展から現状まで興味深いお話でした。

# 三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ有志各社の協力を得て、1996年に設立されました。主として三井グループ企業出身のシニア層のボランティア活動を推進し、豊かで健康な生きがいを感じられるように支援を行い、以て三井グループ全体の社会貢献とすることを主たる目的としています。ボランティア活動会員登録には入会金および年会費等は不要です。ボランティア活動については保険に加入しています。

<b>ボランティア活動会員登録票</b>		(関東地域) 03-5570-8035 FAX (関西地域) 06-4396-8681 (中国地域) 082-222-5101	
三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中 貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。			
		記入日 20 年 月 日	
氏名	(フリガナ)	生年月日	19 年 月 日
		性別	[ ]男 ・ [ ]女
住所	郵便番号 -		
自宅電話番号	-	-	
自宅FAX番号	-	-	
携帯電話番号	-	-	
E-Mail Address			
出身企業			
以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)			
希望する ボランティア	① [ ] 国際交流(留学生と日本語を通じての交流・文書作成の支援等)		
	② [ ] 環境保全(河川敷・海岸等の掃除、水源林地域保全活動)		
	③ [ ] 医療(病院外来の案内・図書整理・演奏活動等)		
	④ [ ] 福祉(福祉施設内の草刈・掃除、福祉団体主催イベントでの手伝い等)		
	⑤ [ ] 文化・教育(文化施設での手伝い、アジアの児童の奨学金支援)		
会員登録の動機について該当項目に○印を入れて下さい(複数可)			
[ ] 出身企業の紹介	[ ] ホームページを見て	[ ] ニュースレターを見て	
[ ] 知人の紹介	[ ] その他( )		

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

## 三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階  
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4階  
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階  
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページからも登録していただけます。 <http://www.mv-net.com/>